

令和4年度第1回学校評議員会報告

- 1 日 時：令和4年5月19日（木）15：30～16：30
- 2 場 所：本校会議室
- 3 出席者：学校評議員4名、本校職員5名（校長、副校長、事務長、生徒指導主事、総務担当）
計9名
- 4 次 第：（1）開会 （2）校長挨拶 （3）自己紹介 （4）学校概況説明 （5）スクール・ポリシーについて （6）質疑・意見交換 （7）その他 （8）閉会
- 5 内 容：

【校長挨拶】

平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。今年度の新入生は、18名で定員の過半数を割っているため、来年度は上回れるように努力したい。部活動においては野球部が連合チームで予選に出場し試合をする毎に成長した。また、女子卓球部は新たに2名で活動しており、東北大会への出場が期待される。少子化やコロナ禍等、学校を取り巻く課題は多い。しかし、今年度も教育の質を落とすことなく、生徒の進路実現と学校生活の充実のために地域の皆様のお力添えを賜りながら職員と生徒が一丸となって取り組む。本日は貴重なご意見を賜りたい。

【学校概況説明】副校長より口頭説明

【学校経営計画】資料により校長より説明

【質疑・意見交換】

A 氏：大学進学率が上がっており素晴らしいと思いました。

B 氏：中学校への出前授業をしているが、小学校に向けて出前授業（読み聞かせ、吹奏楽、遊びなど）することで小さい時から大野高校の魅力を伝えることができるのではないかと考えます。

D 氏：私も小さい時から伝えていくことに賛成します。

C 氏：スクール・ポリシーは全県で行うのか。

副校長：その通り

C 氏：行動があつて出会いがあるので、今年度も「福祉でまちづくり」を進めていきたい。

D 氏：魅力化のための計画（スクール・ポリシー）はよろしいと思います。カタカナが多いと難しいと思うので、用語の説明などがあると理解が深まるのではないかと思います。

D 氏：大野地域活性化のために、福祉の視点から取り組んでいきたい。今年度から中学校でも連携をする予定であり、中・高・大の背骨になれるようにしていきたい。

D 氏：魅力化をするためには、他校と比較して強みを伸ばすことが必要。更に、その強みを絞ることが大切。

校 長：本日は「外に出向く」「動く」「前に出る」という3つのキーワードをいただいた。行動することで出会いが生まれ、つながりができる。このキーワードで本校の特色化・魅力化をすすめていきたい。